

9月21日(土) 22日(日) ひろのアートキャンプの内容



公園内を練り歩くちんどん屋柳沢楽太郎一座



本田敏行アニメ監督と一緒にらくがき



アート作家ROAMCOUCHさんと  
風車の壁にライブペイント



切り絵作家小出菟さんと童謡をテーマに切り絵を制作



紙芝居師せんべいさんと懐かしい紙芝居を体験



オリジナルランタン作り



声優柳沢三千代さんによる  
『かっぱのすりばち』野外映画上映



ハックツくらやみ本屋さんで本探し



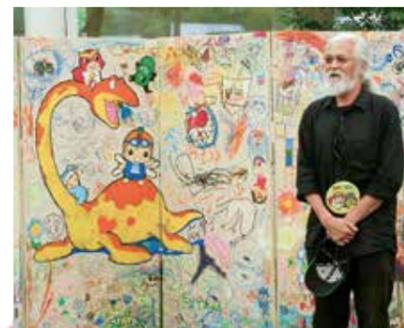
広野町裏千家同門会による茶室『清明館』でお抹茶体験(21日のみ)



駄菓子屋兼こどもの秘密基地「ヒロノベース」



アート作家ROAMCOUCHさん(右) 製作



らくがきの完成品



切り絵の完成品



灯りが点ったランタン

子どもがアートを体験する2日間

「ひろのアートキャンプ」

町では昨年まで、町の課題解決の在り方や将来像を「議論」することにより、地域コミュニティの維持・再生を図ることを目的として広野町国際フォーラム「芸術文化を通してきました。この中で昨年度のフォーラム「芸術文化を通して連携と地域振興」のセッションにおいて「アーティストが地域住民の生活に根差した資源を発見し、それを活かした芸術作品を住民と協働で制作することで、地域での交流人口が拡大し、地域振興の効果が大きい。」との提言を受けました。

通して地域の魅力を再認識するきっかけづくりをし、町の課題である子育て世代の帰還促進を図り、加えて、その成果を地域外に発信することで、被災地の現状について理解を深める内容としました。

アーティストが広野町二ツ沼総合公園のふれあいドームに「ヒロノベース」という駄菓子屋兼子ども秘密基地を創り、そこを拠点とし、二ツ沼総合公園内で子どもが様々なアーティストと一緒に作品を制作するイベントとしました。

9月21日(土)、22日(日)と開催し、2日間約3500人が訪れ、親子でアート・伝統・音楽の体験を楽しみました。